

令和4年度第3回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

令和5年3月27日(月)

午後2時00分から

於：やねのにつぼうホール豊川

1 あいさつ（会長）

白垣会長によるあいさつ

（略）

2 議事

（1）子ども・子育て支援事業の進捗状況について（審議）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・資料1－2の4ページ、児童発達支援体制の充実について、令和8年度に総合保健センター内に児童発達支援センターを開設するということですが、現在、御津福祉保健センター内に設置している児童発達相談センターの利用数を教えてほしい。

（事務局）通所と相談を実施している。令和4年度の実績は、通所が定員10人のところ週2～3回の利用者を含め11人を受け入れている。相談は年間で延700件程を受けている。

- ・資料1－2の5ページの生活困窮世帯学習支援事業について、単一会場から複数会場へ移行するということですが、いつごろ複数になるのか。複数会場となって利用しやすい環境が早くできるといい。

（事務局）利用者が通いやすい環境づくりを行う観点から検討はしているが、現時点で分散開催の時期や個所数などの具体的な内容は決まっていないと担当課から聞いている。

- ・先日、東海テレビの番組において、豊川市の子育て世帯か子どもの数か忘れたが増えているということを聞いた。私もさらっと聞いていたので何が増えたのかははっきり覚えていないが、もし分かれば教えてほしい。

（事務局）今回、東海テレビさんが交流・移住といったところで、豊川市が実は人口が増えていることを捉えて、子育て支援も頑張っているということで紹介されたもの。人口が増えているのは事実で、国勢調査ベースで増えている。外国人の方が増えているので、経済状況によって今後どう変動するかは分からない。ただ、市として子育て支援施策は頑張っており、子育て世帯が増えているかは未確認。番組で取り上げられたのは、子育て支援センターやファーストバースデーお祝い金です。

- ・資料1－2の5ページの生活困窮世帯学習支援事業について、評価コメントに「対応する支援員や学生ボランティアには、相応の支援・指導技術が求められる」と

あるが、実際に求められている対応はどういった内容か、具体的な研修などのスケジュールはあるのでしょうか。

(事務局) 担当課に確認したところ、学習支援の他に生活指導や預かりとしての支援の能力が求められているとのこと。いつごろどういった内容の研修等を行うかについては検討中とのこと。

- ・資料1－2の7ページの産前産後ヘルパーについて、アンケートを実施し実態調査を行うとなっている。ぜひやっていただきたいと思うが、自分たちの活動でも関わっていることもあり、民間のアンケートを調べたことがある。そこでは「来る人が信用できるか」ということと「他人を部屋に入れることに抵抗がある」ということもあると聞いている。なので、まずはみんな登録だけはしておくが、実際の利用は何とか家族で回しているというのが現状と感じているので、どうやってそこをやっていくのが課題。

アンケートをやっても同じことが分かるだけで、その後どうするかということが大事になってくると思う。ぜひアンケートだけで終わらずにその次の一手も考えていただけるといい。

(事務局) ご意見として受け止める。

(2) 子ども・子育て支援事業に係る令和5年度予算について(報告)

【事務局説明の後、委員からの質疑・意見なし】

3 その他

(事務局より)

- ・ヤングケアラーへの今後の対応について説明。
- ・今年度の会議はこれで終了となる。次年度の会議については決まり次第、連絡すること。
- ・委員の任期については、今年度から2年任期という委嘱状であったが交代される委員の方には、辞職願を書いていただくことになる。公募の委員の方にはもう一年お願いすることになる。

※会議終了後、豊川市子育て支援センター及びつどいの広場(MAH)の見学会を実施